

技術検討会「AIシーズ&ニーズ共創」

世話役 富松 篤典(熊本県情報サービス産業協会 参与)

1 事業概要

目的	本研究会は、県内企業や各種分野と研究者・技術者が協力し、個々の分野特有の技術課題に適したAI活用方法の探索、開発の手掛かりの発見、企業と研究者・技術者のマッチングを目的とする。 特定の業界個々に特化したAI活用を研究し、新たな製品・サービスの開発や業務効率化のヒントを提供する。
内容	本研究会では、以下の内容を主軸に活動する。 ニーズ発掘: 県内企業や各種分野が直面している課題を共有 シーズ探索: 研究者・技術者が最新のAI技術や活用事例を紹介 知見共有: 得られた知見を公開可能な範囲で参加者間で共有し、さらなる発展の機会を探る
計画	年4回程度の技術検討会を開催する
キーワード	機械学習、LLM、データ分析、画像認識、ものづくり、ローカルDX推進、技術と現場課題のマッチング
目標及びその進め方	本研究会は、熊本の企業や各種分野におけるAI活用の可能性を広げ、実用的な技術導入を促進することを目指す。そのために、以下のような進め方で活動を展開する。 ①シーズ側からAI技術の最新動向を紹介する。これによって未開のAI活用について考える機会を提供する。 ②シーズ側から既存のAI技術の仕組みやその応用について紹介する。これによってニーズ側が基礎的な知識を持った上で、潜在的なテーマについてのAI活用の可能性を発見することを促進する。 ③ニーズ側が困りごとや実現したいことの公開可能な概要を紹介し研究者・技術者と意見交換する。これによって困りごとの解決や目標の実現へ向けたスキームの構築を目指す。 ④研究者・技術者と企業が対話し、相互理解を深める。これによって、共同研究や共同開発の機会を創出することを目指す。
対象者	各種産業等(製造業、情報産業、建設業、農業、医療、サービス業 など) AI研究者・技術者、支援機関・行政関係者
会員	随時募集する

2 支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算				200	200	

3 予算積算

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費				0	
原材料費				0	
消耗品費				0	
その他	講師旅費・謝金、会場費など	200	1	200	
合計				200	